



柳沢小学校の皆さん、こんにちは！前は「日本とのつながり」について書きましたが、パラオの道を歩いていると、様々なところで日本を感じることができます。例えば、右の写真は私の通う学校のすぐ近くにある「パラオ公園」と書かれた石柱です。「どんな公園だろう？」と顔をあげると、そこにはガソリンスタンドとスーパーしかありません。昔はここに公園があったのでしょうか？今回は、街中にある「日本とのつながり」を紹介していきます。



## パラオの街中にはどんな「日本」があるかな？

### 日本の車がたくさん？

パラオには、電車はなく、バスもほとんどないので、多くの人が車に乗って移動します。そして、パラオの街中で最もよく見るのが日本の車です。私の同僚は、「日本の車はとても頑丈だから長く乗れる！」と話していました。8〜9割近くが日本車なのでは？と思うくらい、たくさん見かけます！



ちなみに、日本の道路にはたくさんあるのに、パラオの道路には一つもないものがあります。それは、「信号」です！以前、パラオの道路に信号をつけたことがあったそうですが、なぜか逆に事故が増えてしまったそうです……。

### 日本の国旗がたくさん？

パラオには、日本が援助して作ってくれたものや贈ってくれたものがたくさん



あります。例えば、右の写真のような学校の建物やパトカー、橋などがあります。街中を歩いていると、ふとした時に見つけて嬉しくなります！他にもどんなものがあるか、探すのが楽しみです。

### ここにも日本のものが？



さて、左の写真のものはなんでしょう？これは、石灯籠です。日本の神社やお寺などでも見たことがありませんか？実は、パラオには日本がつくった神社が2つあります。この灯籠がある場所は、「南洋神社」と呼ばれる神社の参道入り口です。南洋神社は1940年に日本によって建てられました。

今では、このような灯籠が家の門柱に使われている風景を目にします。立派なもの

が多く、80年以上経ったにもかかわらずきれいに残されていることから、パラオ人にこれらが大切にされてきたことがわかります。私もパラオにいる間に、ぜひ2つの神社を訪れたいです。訪れた際には、この通信でお知らせしますね！



パラオに来てから、毎週日曜日にゴミ拾いをする活動に参加しています！先日、その活動がパラオの新聞記事に取り上げられました。パラオのきれいな海を守っていくためにも続けていきたいです。